

姉妹都市ニューポート訪問滞在記

7月10日～18日の間、下田市代表团としてアメリカニューポート市等を訪問し、異国の地で経験した思い、交わした友情。一生の思い出となったであろう中学生達の記録です。

稲梓中学校 鈴木 璃楽

私は、英語が苦手で、アメリカに行くのがとても怖かったです。

アメリカの人は自分の考えを、はっきり話すなど少し強引なイメージがあり、とても心配でしたが、実際にアメリカに行ってみると、誰に対しても明るく接する優しい人たちばかりで、私のアメリカ人に対するマイナスのイメージはすぐになくなりました。

ホームステイは、この交流の中で一番不安でした。しかし、ホストファミリーに会って話してみると、とてもフレンドリーで、私の不安はなくなりませんでした。

野球を見に行ったり、遊園地や海に行ったり、夜はバスケットボールをしたりと、毎日楽しくてあつという間に過ぎていきました。ホストファミリーとのお別れするとき

には、逆にホームシックになつてしまふほど寂しくて、もつとアメリカにいたいと思っていました。

ニューヨーク観光では、タウンゼントハリスさんのお墓参りや、ニューヨーク市大学への訪問のほかに、自由の女神を見たり、9・11のメモリアルパークに行きました。

様々な建物を見たり触れたりして、歴史の深さを感じ、学ぶことができました。

この7日間の交流を通して、私たちの住む下田とアメリカの友好関係の深さを、改めて知ることができ、アメリカが大好きになりました。そして、それと同時に、下田のことも好きになりました。下田に生まれたことを誇りに思い今回の経験を今後の人生に生かして、社会に貢献していきたいです。そして、またいつか絶対にアメリカへ行って、ホストファミリーに会いたいです。

稲生沢中学校 今井 啓太

私は、今回の訪問で、たくさんの貴重な経験をする事ができました。その中でも特に印象的なのは、やはり生の英会話です。買い物、日常会話、聞きなれない英語の中で過すのは、とても新鮮でした。

英会話に関する事で、一つ感動したことがあります。私がホストファミリーの家へ滞在していた時、朝早く起きてしまった私は、台所へ向かいました。すると、ホストファミリーのおばあちゃんが朝食を作っていたので、ホストファミリーの役に立ちたくて料理を手伝うことにしました。

そして料理が終わって、食器やフォークなどを並べていた時にふと(ホストファミリーには左利きの人はいるのだろうか)と知りたくなりました。そこでおばあちゃんに聞こうとしたのですが「左利き」「右

利き」といった英語がわからず、うまく聞けませんでした。ですが、必死になって身振り手振りを使って伝えようとしていたら意味が通じたようで「左利きはいない」と教えてくれました。

この瞬間、たとえ遠くいても、同じ言葉でなくても、人と人は、つながることができると思いました。

交流後は、海外のニュースに関心を持つようになりました。機会があるなら、たくさん外国人と関わり話したいと思っています。

下田東中学校 中川 奈々

と交流できた経験は、私にとってさらに夢への第一歩になったからです。

ニューポートではホストファミリーをはじめ、いろいろな方がとても親切にしてくれました。私のつたない英語でも、しっかりと伝わるようにゆっくり会話をしてくれました。私も、日が経つごとに積極的に話ができるようになり、英語で話すことがとても楽しくなりました。積極的に話せることは、とても大事なのだと改めて感じました。

ニューポートは下田と同じ港町ですが、海の色、外観など雰囲気は違い、私の想像をはるかに超えた素敵な街でした。たくさんパーティーや観光地めぐり、地元野球チームの始球式参加のほかに、玉泉寺から海を渡ってきた石の灯籠の話、ポストンやニューヨークでの体験はとても新鮮でした。

今回の経験を将来に生かし、また必ず、ニューポートを訪れることができるよう、いろいろなことに積極的に取り組んでいきたいです。

下田中学校 高橋 嘉人

僕にとって、このアメリカ訪問は初めてのことはばかりで、最初は期待とともに不安もあり、何よりホームステイが不安でした。しかし、ホームステイ先のティムさんは笑顔で僕たちを迎えて下さりました。おかげでホームステイはとても楽しいものとなり、ニューポート市の歴史や魅力を知ることができました。

このホームステイを通じてコミュニケーションをとる方法は言葉だけではないことがわかりました。身振り手振りやハンドサイン、表情も相手の意思疎通の良い手段となりました。僕は以前よりも相手の意思を豊かに感じとられるようになった気がします。

ニューポートの次に僕たちはニューヨークを訪れました。超高層ビルが道沿いに建ち並び、一枚の壁となつている様子は圧巻でした。また、ニューヨークでは至るところで工事

が行われていました。世界で最も発展している街が更に発展していくと思うと、とても興奮しました。一方で、ごみや空気汚染、交通渋滞、ホームレスなどの様々な問題があることも分かりました。

引率教諭 山田 美鈴

この訪問を通していろいろなものを見聞きしたこと自分の視野が広がりました。また、この経験はこれからの学びのモチベーションとなりました。英語をスラスラ話せるようになり国際的な活躍ができるようになりたいです。

私はこの訪問の間、英語科の教員として子どもたちにどのようなサポートができるかを常に考えていました。英語が苦手だと言っている子や、現地の人とうまくコミュニケーションがとれるか心配だという子もいました。子どもたちのそのような気持ちがよくわかる分、この訪問を通して少しでも英語に対する意識がよい方へと変わってくれるよう支援したいと強く思っていました。しかし、子どもたちには私の支援など必要ありませんでした。子どもたちは、自



献花式の前にリラックス



ニューポートでは始球式にも参加しました



英語で説明しながら和風作り



ペリー提督の墓前にて